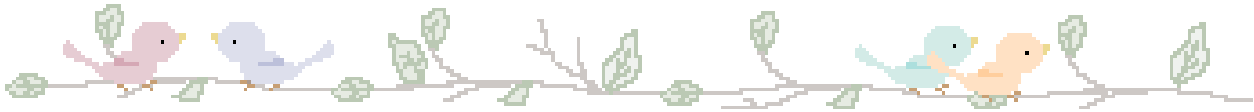


「ゆうゆう北久里浜だより」



年越しそば

コロナ対策に追われた2021年も無事過ごし、新しい年を迎えることが出来ました。皆様のご理解、ご協力のおかげと感謝するとともに、今年も宜しくお願ひ致します。年越しはホームでも年越しそばを頂きました。立春の前日は、旧暦の12月末日(大みそか)と数日しか離れていないこともあり、この一年の最後あたりに食べるそばが、だんだんと年越しそばになっていったと考えられています。「年越しそば」という呼び名が全国的に広まったのは明治以降らしく、江戸時代は「運そば」「年取りそば」(数え年で歳を取るから)とも呼ばれていたとか。①そばは細く長く伸びるので、寿命を延ばし、家運を伸ばすという願ひを込めた説。②そばは切れやすいので、一年の苦勞や厄災をさっぱり断ち切って新年を迎えるという説。③金銀細工師が、散らばった金粉を集めるのにそば粉を使っていたことから、金運を呼ぶという説。縁起物で健康にもいいそばが、「みそかそば」「節分そば」と呼ばれて、毎月月末や季節の変わり目に食べられるようになったのは江戸時代中期。「みそか」とは月末のことで、「節分」とは、立春、立夏、立秋、立冬のそれぞれの前日を指します。

クリスマス会



今年も去年に引き続き、全員集まってのパーティーは出来ませんでしたが、各フロアでハワイアン風のクリスマスソングをウクレレの演奏とフラダンスの披露つきで楽しんだり、ちょっとしたプレゼントやブッシュドノエルの立派なケーキもありました。

柚子湯



「桃栗三年柿八年」に続きがあることをご存じでしょうか？よく言われるのは、「柚子の大馬鹿十八年」。植えてから実がなるまで18年もかかっては、生産者もたまったものではありません。だから「大馬鹿」なのでしょう。この言い回しを積極的に色紙に書いたのが、『二十四の瞳』の作者・坪井栄でした。小豆島には、この石碑が建立されています。

名所紹介

浄楽寺



神奈川では、現在6体の運慶による仏像が確認されていますが、浄楽寺ではその内5体もの運慶仏を觀賞することが可能です。本堂裏の収蔵庫に収められた阿弥陀三尊像、と脇侍の不動明王像、毘沙門天像は全て国の重要文化財で素晴らしい仏像群です。浄楽寺は、この他明治時代に郵政整備や鉄道、海運、教育などに貢献した前島密の菩提寺でもあります。

お知らせ

◆ 1月アクティビティ予定

- ・獅子舞
- ・整容レク

- ・ゆうゆう喫茶

門松

昔は、この門口に飾る松は自分たちで取りに行きました。どこの松でもいいのではなく、その年の恵方(歳神様がやってくる方角の山から取ってくるのを「松迎え」といって、まだ行っている地方もあります。江戸時代、江戸の町では町内の鳶のものが一手に引き受けて松などを用意し、家々を回ってこうした正月飾りを世話して歩いたので、ある程度お揃いの正月飾りを用いるようになりました。



ナーシングホーム 北久里浜

〒239-0807

横須賀市根岸町3-2-14

電話 046-838-5778